

ブラジル株式 ツインαファンド (毎月分配型) ツインα・コース

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式				
信託期間	2014年12月19日から2022年12月26日まで				
運用方針	安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。				
主要運用対象	円建ての外国投資信託証券であるクレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド(適格機関投資家限定)(ツイン・アルファ・クラス)および国内の証券投資信託であるマネーブルマザーファンドを主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。				
	<table border="1"> <tr> <td>クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド(適格機関投資家限定)(ツイン・アルファ・クラス)</td> <td>担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズMSCIブラジル・キャプットETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</td> </tr> <tr> <td>マネーブルマザーファンド</td> <td>わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。</td> </tr> </table>	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド(適格機関投資家限定)(ツイン・アルファ・クラス)	担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズMSCIブラジル・キャプットETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	マネーブルマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド(適格機関投資家限定)(ツイン・アルファ・クラス)	担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズMSCIブラジル・キャプットETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。			
マネーブルマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。				
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。株式への直接投資は行いません。外貨建資産への直接投資は行いません。				
分配方針	毎決算時(毎月25日、休業日の場合は翌営業日)に分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、インカム収益を中心に分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益(評価益を含みます。)が中心となる場合があります。				

運用報告書(全体版)(第7作成期)

第34期(2017年11月27日) 第37期(2018年2月26日)
第35期(2017年12月25日) 第38期(2018年3月26日)
第36期(2018年1月25日) 第39期(2018年4月25日)

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。
さて、「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)ツインα・コース」は、2018年4月25日に第39期決算を行いましたので、第34期から第39期の運用状況をご報告申し上げます。
今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

(受付時間: 営業日の午前9時~午後5時)

<http://www.tdasset.co.jp/>

最近5作成期の運用実績、基準価額の推移等

最近5作成期の運用実績

決算期		基準価額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	クレディ・スイス・ ユニバーサル・トラスト (ケイマン)Ⅲ- ブラジル株式アルファ・ ファンド(道格 機関投資家限定) (ツイン・アルファ・ クラス) 組 入 比 率	純 資 産 額
		(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰 落 率				
第3 作 成 期	10期 (2015年11月25日)	円 6,155	円 200	% 5.8	% 0.6	% —	% 98.4	百万円 178
	11期 (2015年12月25日)	5,143	200	△13.2	0.7	—	97.9	147
	12期 (2016年1月25日)	4,149	200	△15.4	0.7	—	97.9	114
	13期 (2016年2月25日)	4,127	200	4.3	0.6	—	98.1	133
	14期 (2016年3月25日)	4,551	200	15.1	—	—	96.1	200
	15期 (2016年4月25日)	4,635	200	6.2	—	—	89.4	345
第4 作 成 期	16期 (2016年5月25日)	4,289	200	△3.1	—	—	95.8	584
	17期 (2016年6月27日)	4,065	200	△0.6	—	—	97.8	785
	18期 (2016年7月25日)	4,484	200	15.2	—	—	97.5	1,145
	19期 (2016年8月25日)	4,206	140	△3.1	—	—	96.3	1,675
	20期 (2016年9月26日)	4,178	140	2.7	—	—	97.0	1,390
	21期 (2016年10月25日)	4,479	140	10.6	—	—	98.5	1,467
第5 作 成 期	22期 (2016年11月25日)	3,941	140	△8.9	—	—	98.0	1,461
	23期 (2016年12月26日)	3,722	140	△2.0	—	—	98.3	1,578
	24期 (2017年1月25日)	3,901	140	8.6	—	—	97.7	2,129
	25期 (2017年2月27日)	3,827	140	1.7	—	—	91.9	3,799
	26期 (2017年3月27日)	3,585	140	△2.7	—	—	98.3	5,287
	27期 (2017年4月25日)	3,489	110	0.4	—	—	98.4	6,491
第6 作 成 期	28期 (2017年5月25日)	3,331	110	△1.4	—	—	98.7	6,497
	29期 (2017年6月26日)	3,091	110	△3.9	—	—	97.8	6,301
	30期 (2017年7月25日)	3,217	110	7.6	—	—	98.2	7,079
	31期 (2017年8月25日)	3,248	110	4.4	—	—	97.9	7,307
	32期 (2017年9月25日)	3,286	110	4.6	—	—	98.0	7,794
	33期 (2017年10月25日)	3,181	110	0.2	—	—	98.4	7,881
第7 作 成 期	34期 (2017年11月27日)	2,996	110	△2.4	—	—	98.4	8,053
	35期 (2017年12月25日)	2,892	110	0.2	—	—	98.1	9,366
	36期 (2018年1月25日)	3,000	110	7.5	—	—	98.2	11,804
	37期 (2018年2月26日)	2,874	110	△0.5	—	—	98.0	13,470
	38期 (2018年3月26日)	2,623	110	△4.9	—	—	97.9	13,681
	39期 (2018年4月25日)	2,538	110	1.0	—	—	97.9	15,120

(注) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、ブラジル株式とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年	月	日	基準価額		債券組入比率	債券先物比率	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン) III-ブラジル株式アルファ・ファンド(適格機関投資家限定)(ツイン・アルファ・クラス)組入比率
				円	騰落率			
第34期	期首(前期末)		2017年10月25日	3,181	—	—	—	98.4
			10月末	3,088	△2.9	—	—	98.3
	期末		2017年11月27日	3,106	△2.4	—	—	98.4
第35期	期首(前期末)		2017年11月27日	2,996	—	—	—	98.4
			11月末	2,950	△1.5	—	—	98.0
	期末		2017年12月25日	3,002	0.2	—	—	98.1
第36期	期首(前期末)		2017年12月25日	2,892	—	—	—	98.1
			12月末	2,931	1.3	—	—	98.5
	期末		2018年1月25日	3,110	7.5	—	—	98.2
第37期	期首(前期末)		2018年1月25日	3,000	—	—	—	98.2
			1月末	2,992	△0.3	—	—	98.7
	期末		2018年2月26日	2,984	△0.5	—	—	98.0
第38期	期首(前期末)		2018年2月26日	2,874	—	—	—	98.0
			2月末	2,875	0.0	—	—	98.0
	期末		2018年3月26日	2,733	△4.9	—	—	97.9
第39期	期首(前期末)		2018年3月26日	2,623	—	—	—	97.9
			3月末	2,700	2.9	—	—	98.7
	期末		2018年4月25日	2,648	1.0	—	—	97.9

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

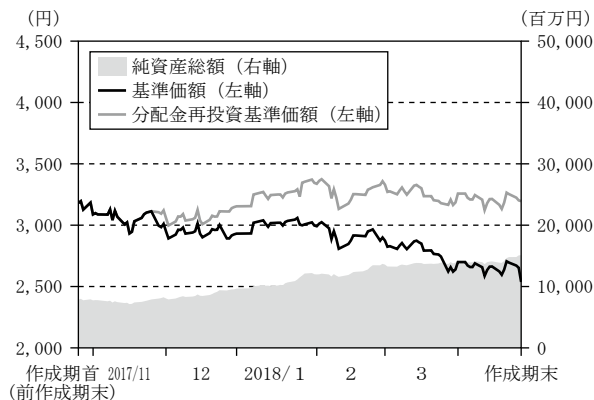
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、ブラジル株式とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第34期首：3,181円

第39期末：2,538円（既払分配金660円）

騰落率：0.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2017年10月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

高位に組入れているクレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）において、ブラジル株式（米ドル建てETF）、通貨カバードコール戦略等がプラス寄与した結果、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）	1.5%
マネープールマザーファンド	△0.0

■ 投資環境

【ブラジル株式市況】

当作成期のブラジル株式市場は上昇しました。作成期初は、テメル大統領の汚職疑惑などを背景に構造改革の遅れへの懸念が燦るなか、株価は上値の重い展開が続きました。その後は、米国の税制改革への期待を背景に世界的な株高となるなか、ブラジル株式市場も上昇しました。ブラジル連邦地方裁判所が、ルラ元大統領の汚職の容疑について有罪判決を言い渡したことを受けて、次回の大統領選挙で大衆迎合的な政策を掲げる同氏の出馬の可能性がなくなり、経済改革が進展するとの見方が広がったことや、原油価格が回復をみせたことも株価の上昇要因となりました。作成期末にかけては、トランプ米大統領が鉄鋼とアルミニウムに対し輸入関税を課す方針を表明したことや、中国による知的財産権侵害への制裁措置として中国からの輸入品に関税を導入する計画を明らかにしたことで、貿易摩擦の拡大に対する懸念が強まったことや、ブラジルの主要貿易相手国である中国経済への影響が意識されたことなどから、株価は上値の重い展開となりました。

【為替市況】

当作成期の円・米ドル相場は円高米ドル安となりました。2018年1月に日銀が長期国債の買い入れを減額したことを受けて日本の長期金利が上昇し、日米の金利差縮小が意識されたことや、ムニューシン米財務長官が、米ドル安が米国にとって好ましいとの考えを示したことなどを背景に、円高米ドル安が進行しました。2月には、米国の長期金利の急上昇を嫌気して世界的な株安となるなか、市場のリスク回避姿勢が強まり、安全資産としての円が買われる展開となりました。その後も、米国と中国をめぐる貿易摩擦への懸念から投資家がリスク回避姿勢を強めるなか、米ドルは円に対し上値の重い展開となりました。また、トランプ米大統領が、国際協調路線を掲げてきたティラーソン氏をはじめ政府高官の更迭を相次いで発表したことで、トランプ政権が外交や貿易政策でより強硬な路線を進む可能性があるとの見方が強まったことも米ドルの売り材料となりました。

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、作成期初の $\Delta 0.19\%$ から作成期末は $\Delta 0.17\%$ となりました。海外勢による需要の高まりなどから金利が低下する局面もありましたが、日銀の国庫短期証券買入オペ動向を巡る不透明感などを背景に金利は上昇しました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

作成期を通じて、クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）を概ね高位に組入れ、マネープールマザーファンドにも投資を行いました。

【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）】

主としてクレディ・スイス・インターナショナルを相手先とする担保付スワップ取引を高位に組入れ、実質的に、ブラジル株式（米ドル建てETF）とブラジル株式・オプション取引に加えて、通貨オプション取引の投資成果の享受を目指して運用を行いました。

【マネープールマザーファンド】

国債の利回りがマイナスで推移したことから組入れを見送り、作成期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

■ 分配金

1万円当たりの分配金（税込み）は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第34期から第39期まで各110円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）の組入比率を高位に保ち、もう一方の投資対象であるマネープールマザーファンドへの投資も継続する方針です。

【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）】

担保付スワップ取引を通じて、実質的に、ブラジル株式（米ドル建てETF）の上昇益の50%程度を狙いつつ、ブラジル株式（米ドル建てETF）からの配当金+ブラジル株式（米ドル建てETF）の株式オプションプレミアム+米ドル（対円為替レート）の通貨オプションプレミアムのインカム性収益の獲得を目指します。

【マネープールマザーファンド】

日本経済は、足許では内外の景気改善や円安などを背景にインフレ率は上向いていくと予想しますが、依然、日本の基調的なインフレ圧力は弱く、インフレ期待が急速に高まる可能性は低いとみられます。こうした中で、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が継続し、金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、短期国債や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2017年10月26日から2018年4月25日まで)

費用の明細

項目	第34期～第39期		項目の概要
	2017/10/26～2018/4/25		
	金額	比率	
平均基準価額	2,922円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	21円 (8) (13) (0)	0.716% (0.269) (0.431) (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内での ファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.008 (0.008)	(b) その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	21	0.724	

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

売買および取引の状況 (2017年10月26日から2018年4月25日まで)

(1) 投資信託証券

		第 34 期 ～ 第 39 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン)Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド (適格機関投資家限定) (ツイン・アルファ・クラス)	口	千円	口	千円
		4,460,730	10,261,000	277,500	671,829

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	第 34 期 ～ 第 39 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
マネープールマザーファンド	千口	千円	千口	千円
	39,675	40,330	—	—

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2017年10月26日から2018年4月25日まで)

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2018年4月25日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	前作成期末 (第33期末)	当 作 成 期 末 (第 39 期 末)		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式アルファ・ファンド (適格機関投資家限定) (ツイン・アルファ・クラス)	口 2,954,911	口 7,138,140	千円 14,797,366	% 97.9

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	前 作 成 期 末 (第 33 期 末)	当 作 成 期 末 (第 39 期 末)		
	口 数	口 数	評 価 額	口 数
マネープールマザーファンド	千口 78,494	千口 118,169	千円 120,096	千口 120,096

(注) マネープールマザーファンド全体の受益権口数は164,656千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2018年4月25日現在)

項 目	当 作 成 期 末 (第 39 期 末)	
	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式 アルファ・ファンド (適格機関投資家限定) (ツイン・アルファ・クラス)	千円 14,797,366	% 89.8
マネープールマザーファンド	120,096	0.7
コール・ローン等、その他	1,555,302	9.5
投資信託財産総額	16,472,764	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年11月27日現在 2017年12月25日現在 2018年1月25日現在 2018年2月26日現在 2018年3月26日現在 2018年4月25日現在

項 目	第 34 期 末	第 35 期 末	第 36 期 末	第 37 期 末	第 38 期 末	第 39 期 末
(A) 資 産	8,836,802,109円	10,083,657,565円	12,635,418,492円	14,419,272,233円	14,621,359,354円	16,472,764,528円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	829,098,300	818,622,580	959,102,507	1,098,365,644	1,101,063,837	1,555,302,474
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式アルファ・ ファンド(道格機関投資家限定 (ツイン・アルファ・クラス) (評価額)	7,927,906,314	9,185,237,490	11,596,526,339	13,200,786,943	13,400,187,688	14,797,366,042
マネー・プールマザー・ファンド(評価額)	79,797,495	79,797,495	79,789,646	120,119,646	120,107,829	120,096,012
(B) 負 債	783,422,377	716,685,097	830,490,856	948,530,110	939,539,095	1,351,950,851
未 払 金	438,000,000	290,000,000	300,000,000	400,000,000	310,000,000	630,000,000
未 払 収 益 分 配 金	295,705,751	356,237,653	432,811,303	515,568,714	573,771,791	655,227,004
未 払 解 約 金	39,690,655	61,000,261	85,209,093	17,379,786	40,606,959	49,807,811
未 払 信 託 報 酬	9,919,993	9,347,300	12,338,766	15,417,234	15,000,245	16,736,784
未 払 利 息	1,570	1,500	1,821	2,099	2,212	3,087
そ の 他 未 払 費 用	104,408	98,383	129,873	162,277	157,888	176,165
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	8,053,379,732	9,366,972,468	11,804,927,636	13,470,742,123	13,681,820,259	15,120,813,677
元 本	26,882,341,089	32,385,241,232	39,346,482,127	46,869,883,139	52,161,071,980	59,566,091,327
次 期 繰 越 損 益 金	△18,828,961,357	△23,018,268,764	△27,541,554,491	△33,399,141,016	△38,479,251,721	△44,445,277,650
(D) 受 益 権 総 口 数	26,882,341,089口	32,385,241,232口	39,346,482,127口	46,869,883,139口	52,161,071,980口	59,566,091,327口
1万口当たり基準価額(C/D)	2,996円	2,892円	3,000円	2,874円	2,623円	2,538円

(注) 当ファンドの第34期首元本額は24,777,636,590円、第34～39期中追加設定元本額は52,140,820,118円、第34～39期中一部解約元本額は17,352,365,381円です。

(注) 元本の欠損

第39期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は44,445,277,650円です。

(注) 第39期末の1口当たり純資産額は0.2538円です。

損益の状況

自2017年10月26日 自2017年11月28日 自2017年12月26日 自2018年1月26日 自2018年2月27日 自2018年3月27日
至2017年11月27日 至2017年12月25日 至2018年1月25日 至2018年2月26日 至2018年3月26日 至2018年4月25日

項 目	第 34 期	第 35 期	第 36 期	第 37 期	第 38 期	第 39 期
(A) 配 当 等 収 益	295,546,474円	325,352,856円	379,147,540円	488,048,354円	540,408,816円	573,733,266円
受 取 配 当 金	295,562,993	325,370,117	379,175,231	488,074,855	540,433,246	573,759,036
支 払 利 息	△ 16,519	△ 17,261	△ 27,691	△ 26,501	△ 24,430	△ 25,770
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 452,576,084	△ 272,131,074	△ 374,127,249	△ 487,752,594	△ 1,212,341,818	△ 437,676,190
有 価 証 券 買 益	24,714,131	12,504,202	387,301,392	14,131,710	11,759,640	9,868,375
売 買 損 益	△ 477,290,215	△ 284,635,276	△ 13,174,143	△ 501,884,304	△ 1,224,101,458	△ 447,544,565
(C) 信 託 報 酬 等	△ 10,024,401	△ 9,445,683	△ 12,468,639	△ 15,579,511	△ 15,158,133	△ 16,912,949
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 167,054,011	△ 43,776,099	△ 740,806,150	△ 15,283,751	△ 687,091,135	△ 119,144,127
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 615,927,261	△ 982,680,780	△ 1,117,839,765	△ 693,727,817	△ 1,121,930,701	△ 2,216,570,764
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金 (配 当 等 相 当 額)	△17,750,274,334	△21,723,126,430	△26,731,709,573	△32,174,560,734	△36,096,458,094	△41,692,624,009
(配 当 等 相 当 額)	(2,682,161,917)	(3,269,604,765)	(4,001,988,821)	(4,758,360,574)	(5,296,927,745)	(6,072,209,634)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△20,432,436,251)	(△24,992,731,195)	(△30,733,698,394)	(△36,932,921,308)	(△41,393,385,839)	(△47,764,833,643)
(G) 合 計 (D + E + F)	△18,533,255,606	△22,662,031,111	△27,108,743,188	△32,883,572,302	△37,905,479,930	△43,790,050,646
(H) 収 益 分 配 金	△ 295,705,751	△ 356,237,653	△ 432,811,303	△ 515,568,714	△ 573,771,791	△ 655,227,004
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△18,828,961,357	△23,018,268,764	△27,541,554,491	△33,399,141,016	△38,479,251,721	△44,445,277,650
追 加 信 託 差 損 益 金 (配 当 等 相 当 額)	△17,760,458,012	△21,763,456,910	△26,791,648,802	△32,217,660,605	△36,144,979,202	△41,791,030,696
(配 当 等 相 当 額)	(2,671,978,239)	(3,229,274,285)	(3,942,049,592)	(4,715,260,703)	(5,248,406,637)	(5,973,802,947)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△20,432,436,251)	(△24,992,731,195)	(△30,733,698,394)	(△36,932,921,308)	(△41,393,385,839)	(△47,764,833,643)
繰 越 損 益 金	△ 1,068,503,345	△ 1,254,811,854	△ 749,905,689	△ 1,181,480,411	△ 2,334,272,519	△ 2,654,246,954

(注) 損益の状況の中で

(B)有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。

(C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

〔第34期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（285,522,073円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,682,161,917円）より、分配対象収益は2,967,683,990円（1万口当たり1,103円）であり、うち295,705,751円（1万口当たり110円）を分配金額としております。

〔第35期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（315,907,173円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（3,269,604,765円）より、分配対象収益は3,585,511,938円（1万口当たり1,107円）であり、うち356,237,653円（1万口当たり110円）を分配金額としております。

〔第36期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（372,872,074円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（4,001,988,821円）より、分配対象収益は4,374,860,895円（1万口当たり1,111円）であり、うち432,811,303円（1万口当たり110円）を分配金額としております。

〔第37期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（472,468,843円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（4,758,360,574円）より、分配対象収益は5,230,829,417円（1万口当たり1,116円）であり、うち515,568,714円（1万口当たり110円）を分配金額としております。

〔第38期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（525,250,683円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（5,296,927,745円）より、分配対象収益は5,822,178,428円（1万口当たり1,116円）であり、うち573,771,791円（1万口当たり110円）を分配金額としております。

〔第39期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（556,820,317円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（6,072,209,634円）より、分配対象収益は6,629,029,951円（1万口当たり1,112円）であり、うち655,227,004円（1万口当たり110円）を分配金額としております。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第34期	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期
	2017年10月26日 ～2017年11月27日	2017年11月28日 ～2017年12月25日	2017年12月26日 ～2018年1月25日	2018年1月26日 ～2018年2月26日	2018年2月27日 ～2018年3月26日	2018年3月27日 ～2018年4月25日
当期分配金	110	110	110	110	110	110
（対基準価額比率）	3.542	3.664	3.537	3.686	4.025	4.154
当期の収益	106	97	94	100	100	93
当期の収益以外	3	12	15	9	9	16
翌期繰越分配対象額	993	997	1,001	1,006	1,006	1,002

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

※元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

《お知らせ》

2018年1月26日適用で、信託期間を延長し、信託終了日を2019年12月25日から2022年12月26日とするよう約款変更を行いました。

補足情報

マネープールマザーファンドにおける主要な売買銘柄

当作成期における売買はありません。

マネープールマザーファンドの組入資産の明細

当作成期末における組入れはありません。

組入投資信託証券の内容

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）
（ツイン・アルファ・クラス）（シングル・アルファ・クラス）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	ケイマン籍／外国投資信託／円建
運 用 基 本 方 針	<p>（ツイン・アルファ・クラス） 担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズ MSCI ブラジル・キャップト ETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>（シングル・アルファ・クラス） 担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズ MSCI ブラジル・キャップト ETFとブラジル株式・オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主 な 投 資 対 象	クレディ・スイス・インターナショナルを相手先とする担保付スワップ取引を投資対象とします。
投 資 態 度	<p>（ツイン・アルファ・クラス）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①担保付スワップ取引を通じて、実質的にiシェアーズ MSCI ブラジル・キャップト ETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 ②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ③ブラジル株式・オプション取引ならびに為替オプション取引の各々の実質的な想定元本は、原則として、ブラジル株式・オプション取引についてはおおむね純資産相当額の半分程度、為替オプション取引についてはおおむね純資産相当額程度で行うものとします。 ④資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。 <p>（シングル・アルファ・クラス）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズ MSCI ブラジル・キャップト ETFとブラジル株式・オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 ②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ③ブラジル株式・オプション取引の実質的な想定元本は、原則として、おおむね純資産相当額の半分程度で行うものとします。 ④資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
主 な 投 資 制 限	<ol style="list-style-type: none"> ①店頭オプション、上場オプション、ETFに原則として直接投資を行いません。 ②有価証券の空売りは行いません。 ③純資産総額の10%を超える借り入れは行いません。 ④一発行会社の発行済総株式数の50%を超えて、当該発行会社の株式に投資しません。 ⑤流動性にかかる資産の組入れは15%以下とします。 ⑥運用会社ならびに管理会社は、自己又は投資信託受益証券以外の第三者の利益を図る目的で行う取引等は行いません。
分 配 方 針	原則として、毎月分配を行います。
投 資 運 用 会 社	クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッド

※次ページ以降の記載は、組入投資信託証券の関係会社より入手した情報をもとに作成しております。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

(1) (2) : バンクオブニューヨークメロン証券株式会社より入手した監査済報告書を、当社が一部和訳したものです。

(3) : ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手したデータをもとに作成したものです。

(1) 各クラスの状況

作成基準日：2017年11月30日

	受益権総口数
シングル・アルファ・クラス	40,060口
ツイン・アルファ・クラス	3,303,662
合計	3,343,722口

(注) 日付は現地基準です。

(2) 損益計算書

計算期間：2016年12月1日～2017年11月30日

単位：円

収益	
手数料収入	2,437,073,441
担保付スワップ取引に係る純損失	(1,973,761,568)
投資純利益	463,311,873
費用	
運用費用	19,038,065
運用費用合計	19,038,065
分配前の期中の純資産変動	444,273,808
支払分配金	(2,418,035,376)
分配後の期中の純資産変動	(1,973,761,568)

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(3) 組入資産の明細

作成基準日：2017年11月30日

担保付スワップ

単位：円

クラス	想定元本額	評価額
シングル・アルファ・クラス	400,598,760	140,249,626
ツイン・アルファ・クラス	33,036,615,350	7,846,196,146
合計		7,986,445,772

(注) 日付は現地基準です。

マネープールマザーファンド

運用報告書（全体版） 第12期（決算日 2017年11月10日）
（計算期間 2016年11月11日から2017年11月10日まで）

「マネープールマザーファンド」は、2017年11月10日に第12期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざして運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債先物比率	純資産総額
	円	騰落中率			
8期（2013年11月11日）	10,173	0.1	71.8	—	百万円 69
9期（2014年11月10日）	10,177	0.0	71.8	—	69
10期（2015年11月10日）	10,178	0.0	60.8	—	57
11期（2016年11月10日）	10,174	△0.0	—	—	67
12期（2017年11月10日）	10,167	△0.1	—	—	129

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率 %	債 組 入 比 率 %	債 先 物 比 率 %
期首(前期末) 2016年11月10日	10,174	—	—	—
11月末	10,174	0.0	—	—
12月末	10,173	△0.0	—	—
2017年1月末	10,173	△0.0	—	—
2月末	10,172	△0.0	—	—
3月末	10,171	△0.0	—	—
4月末	10,171	△0.0	—	—
5月末	10,170	△0.0	—	—
6月末	10,169	△0.0	—	—
7月末	10,169	△0.0	—	—
8月末	10,168	△0.1	—	—
9月末	10,168	△0.1	—	—
10月末	10,167	△0.1	—	—
期 末 2017年11月10日	10,167	△0.1	—	—

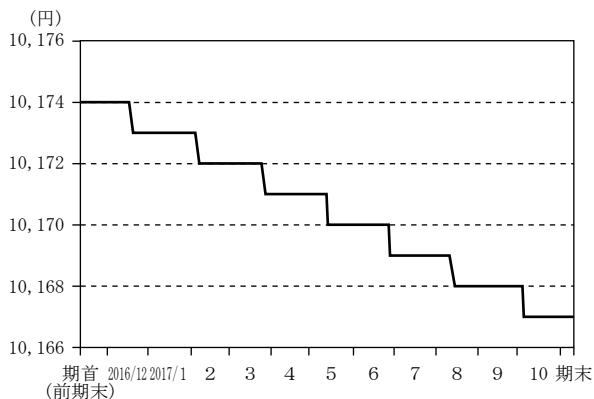
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の変動要因

基準価額は、期首の10,174円からスタートし、期末は10,167円となりました。運用対象であるコールローン等の利回りが0%を下回る水準で推移したことから、小幅に下落しました。

■ 投資環境

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の△0.30%から期末は△0.23%となりました。日銀による「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」などの短期金利を低位に抑える金融政策が継続しましたが、日銀の国庫短期証券買入オペ動向に対する不透明感の高まりなどから利回りは上昇しました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%といたしました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

足許における比較的堅調な国内外の景気動向などを背景に、日本のインフレ率は上向いていくと予想しますが、依然、基調的なインフレ圧力は弱く、インフレ期待が急速に高まる可能性は低いとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2016年11月11日から2017年11月10日まで)

当期において発生した費用はありません。

売買および取引の状況 (2016年11月11日から2017年11月10日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2016年11月11日から2017年11月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2017年11月10日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2017年11月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 129,496	%
投 資 信 託 財 産 総 額	129,496	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年11月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	129,496,493円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	129,496,493
(B) 負 債	237
未 払 利 息	237
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	129,496,256
元 本	127,371,906
次 期 繰 越 損 益 金	2,124,350
(D) 受 益 権 総 口 数	127,371,906口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C / D)	10,167円

- (注) 期首元本額 66,488,296円
 期中追加設定元本額 66,782,156円
 期中一部解約元本額 5,898,546円
- (注) 1口当たり純資産額は1,0167円です。
- (注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳
 欧州新成長国株式ファンド 47,786,263円
 ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型) ツインα・コース 78,494,487円
 ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型) シングルα・米ドルコース 1,091,156円

損益の状況

当期 自2016年11月11日 至2017年11月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 71,204円
受 取 利 息	50
支 払 利 息	△ 71,254
(B) 当 期 損 益 金 (A)	△ 71,204
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	1,159,164
(D) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,137,844
(E) 解 約 差 損 益 金	△ 101,454
(F) 合 計 (B + C + D + E)	2,124,350
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	2,124,350

- (注) 損益の状況の中で
 (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
 (E)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。